

## 山東東小学校の校舎が 生まれ変わりました (6月9日)

閉校した山東東小学校の校舎を活用した、高齢者複合住宅「緑泉館」の竣工式と開所式が6月9日に行われました。

竣工式では、緑泉館を運営する医療法人緑泉会の理事長であり、長年地元長岡で医院を営まれている水野敏彦さんのあいさつや、泉市長ら来賓の方からのお祝いの言葉が述べられました。

緑泉館内には「ボクシング・フィットネスジム」が併設されるなど、子どもから高齢者のみなさんが集う場所となっていて、地域の新たな活力となることが期待されます。



写真はあいさつをされている水野敏彦さん

## 絆が息吹くまちづくり広場 (7月1日)

7月1日、伊吹薬草の里文化センターで、市内25のまちづくりグループが集う「まちづくり広場」が開催されました。

このイベントは、まちづくり団体が地域や分野を越えて交流することを目的に開催されたもの。会場には各団体の活動を紹介するブースなどがずらりと並び、FM滋賀のパーソナリティーでおなじみのケイミーさんが順にインタビューをして場内を盛り上げていました。

参加されたグループ同士で情報交換などがおこなわれ、新たな出会いや連携を深める機会になったのではないのでしょうか。



これまで本市が震災の復興支援に取り組んできた福島県相馬市の立谷市長を講師としてお招きし、米原市防災講演会を開催しました。

かつて経験したことない甚大な災害に直面する中、人命救済と復旧・復興に全力を尽くしてこられた立谷市長の実体験を聴講し、私をはじめ、様々な立場の皆さんにとって、多くのことを学び、考えさせられる有意義な機会となりました。

特に同じ市長という立場の私にとっては、自分が同じ状況におかれたら、「どう行動しただろう」、「どれだけの人の命が救えただろう」と身につまされるとともに、リーダーとしての一瞬の決断と的確な指示、さらにあらゆるネットワークを駆使した救援対策の重要性を強く感じました。

また、相馬市では、しっかりと結ばれた地域の絆によって多くの人命が救われたことや、震災直後には、全国の市町や団体からの迅速な応援が大きな救いになったと聞きました。今回、相馬市と災害時における相互応援協定を締結しましたが、広域災害に備え、先般、あらためて締結した「ほたるサミット」での応援協定など、遠方自治体との協定の必要性を実感しているところです。

引き続き、絆を結びながら、できる限りの支援に取り組みとともに、相馬市の経験を今後の防災対策に活かして、市民の安全・安心を守っていく決意を新たにしました。



米原市長 泉峰一

(7月1日記)